

# 長期失業者等総合支援事業

# 長期失業者等総合支援事業の概要

- 民間職業紹介事業者※を活用して、就職が難しい長期失業者※を対象に手厚い支援(キャリア・コンサルティング、就職セミナー、メンタルヘルス相談、求人開拓、職業紹介、職場定着支援等)を実施し、官民が力を合わせて就職を実現(平成23年度～)。
- 民間職業紹介事業者のインセンティブになるよう、委託費の支給方法を工夫。また、就職の質を意識してもらうために、3月以上の定着を条件とするほか、求人開拓も積極的に行ってもらうために、自社紹介の追加支給額を上乗せするなどインセンティブの要件を厳格化。

## 委託費の支給方法

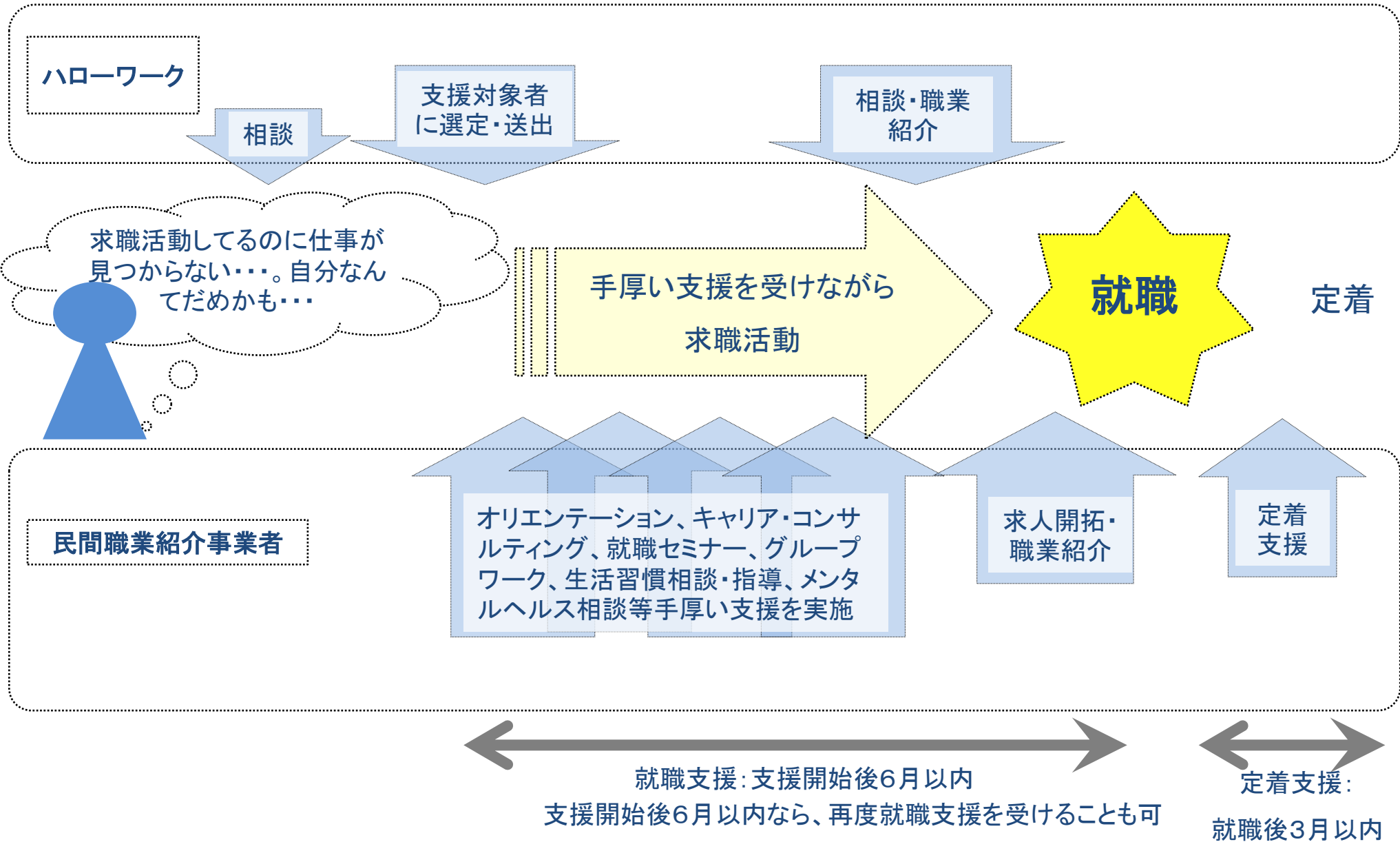
- 基本支給額: 20万円・・・支援を行ったことに対して支給。
- 1年以上の雇用が見込まれる就職をし、3月以上定着した場合の追加支給額
  - ① 40万円・・・民間職業紹介事業者の紹介により就職した場合
  - ② 20万円・・・ハローワークの紹介など、①以外の場合

- 26年度は15地域で実施したが、27年度は9地域に縮小(北海道、東京、大阪、福岡、岩手、宮城、福島、山形、新潟)。

※ 民間のノウハウを活用できるよう、都道府県労働局において、事業年度ごとに、企画競争方式によって選定。

※ 1年以上失業している長期失業者及び長期失業に至る可能性の高い求職者

# 支援のイメージ



# 民間職業紹介事業者が行う支援の具体的内容

## 就職支援

- ・**オリエンテーション**: 支援内容、スケジュール、利用方法等を説明するとともに、状況確認や職業適性検査等を実施。
- ・**キャリア・コンサルティング**: 担当者制でキャリア・コンサルティングを実施。希望があれば、応募書類の添削、面接指導等も実施。
- ・**就職セミナー**: 講義や実習を通じ、求職活動に当たっての心構えを養成するとともに、労働市場等についても理解。
- ・**グループワーク**: 対象者同士が求職活動についての意見交換、情報交換を通じて、就職意欲を高める。
- ・**生活習慣相談**: 対象者の状況に応じて、生活習慣の改善に関する支援を実施。
- ・**メンタルヘルス相談**: 臨床心理士、精神保健福祉士等の専門職が、メンタル面をサポート。

## 求人開拓 職業紹介

- ・ 民間職業紹介事業者が、個々の求職者の適性・希望に適合する求人を、個別に開拓。
- ・ 開拓した求人についての情報を提供。
- ・ 開拓した求人をもとに、職業紹介を実施。

## 定着支援

- ・ 就職者全員※に1月ごとに職場内の労働問題、メンタルヘルス等に係る個別相談を実施。

※ 対象者から支援を希望しない旨の申出があった場合を除く。

# 長期失業者等総合支援事業の実績(その1)

- 就職率は、年々上昇。
- 平成27年度は、求職者の減少傾向を踏まえて実施地域を縮小。

		23年度(補正)	24年度	25年度	26年度	27年度
実施地域		8地域 (北海道、岩手、宮城、福島、埼玉、千葉、東京、神奈川)	12地域 (愛知、大阪、兵庫、福岡を追加)	13地域 (広島を追加)	15地域 (山形、新潟を追加)	9地域 (埼玉、千葉、神奈川県、愛知、兵庫、広島を削減)
予算額		83百万円	584百万円	1,874百万円	2,080百万円	2,025百万円
執行額		37百万円	366百万円	1,284百万円	1,374百万円	—
活動・成果実績	支援開始者数	833人	4,387人	4,120人	4,020人	—
	就職率	55%	64%	75%	支援中	—

〈注1〉本事業では、支援期間の上限が、就職支援6か月、職場定着支援3か月であり、支援期間終了後に委託費を支給することとしていることから、予算額及び執行額に対応する者は、前年度に支援を開始した者である。

(注2) 27年度は、①長期失業者が多いとみられる大都市圏(北海道、東京、大阪、福岡)、②東日本大震災地域(岩手、宮城、福島)及び避難先地域(山形、新潟)に絞って実施。

# 長期失業者等総合支援事業の実績(その2)

○ 単位当たりコストは年々上昇しているが(④)、3か月以上の職場定着による追加額が増えてきていることによるものである(⑧又は⑨)。

	24年度	25年度	26年度	3年平均	
①執行額	365,634千円	1,283,996千円	1,374,357千円	—	
②①のうち委託費の執行額	158,600千円	1,041,000千円	1,105,200千円	768,267千円	
③前年度の支援開始者数	833人	4,387人	4,120人	3,113人	
④単位当たりコスト(②/③)	190,396円	237,292円	268,252円	246,767円	
⑤就職者数〈注1〉	448人	2,776人	3,050人	2,091人	
⑥職業訓練受講数	13人	49人	33人	32人	
⑦就職率(⑤/(③-⑥))	55%	64%	75%	68%	
委託費支給額	⑧60万円〈注2〉	18人	305人	460人	261人
	⑨40万円〈注3〉	59人	493人	680人	411人
	⑩20万円〈注4〉	698人	4,102人	3,926人	2,909人
⑪職場定着率((⑧+⑨)/⑤)〈注5〉	17%	29%	37%	32%	

〈注1〉就職者数は、⑧⑨の追加支給額の対象とならない雇用期間が1年未満の就職も含めた数である。

〈注2〉基本支給額20万円+民間職業紹介事業者の紹介により雇用期間が1年以上の就職をし3か月以上定着した場合の追加支給額40万円

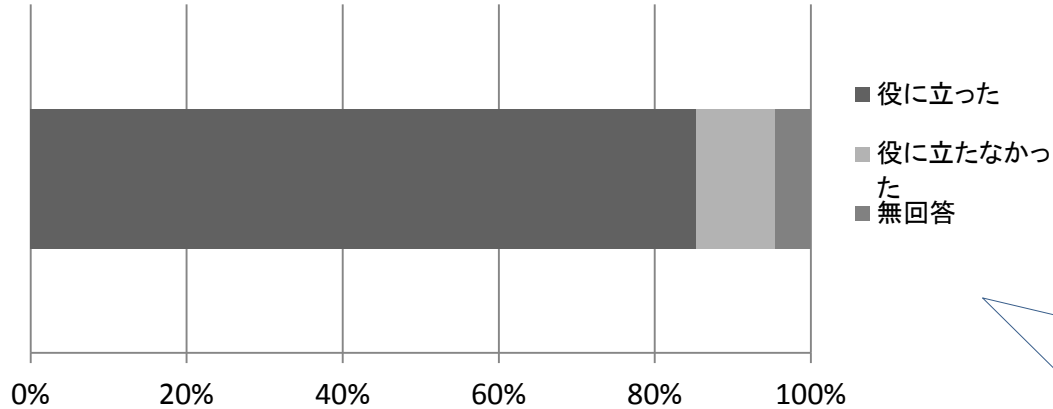
〈注3〉基本支給額20万円+ハローワークの紹介などにより雇用期間が1年以上の就職をし3か月以上定着した場合の追加支給額20万円

〈注4〉基本支給額20万円のみ

〈注5〉雇用期間が1年未満の就職も含めた全体の就職者数のうち雇用期間1年以上の就職をし3ヶ月以上定着した者の割合。

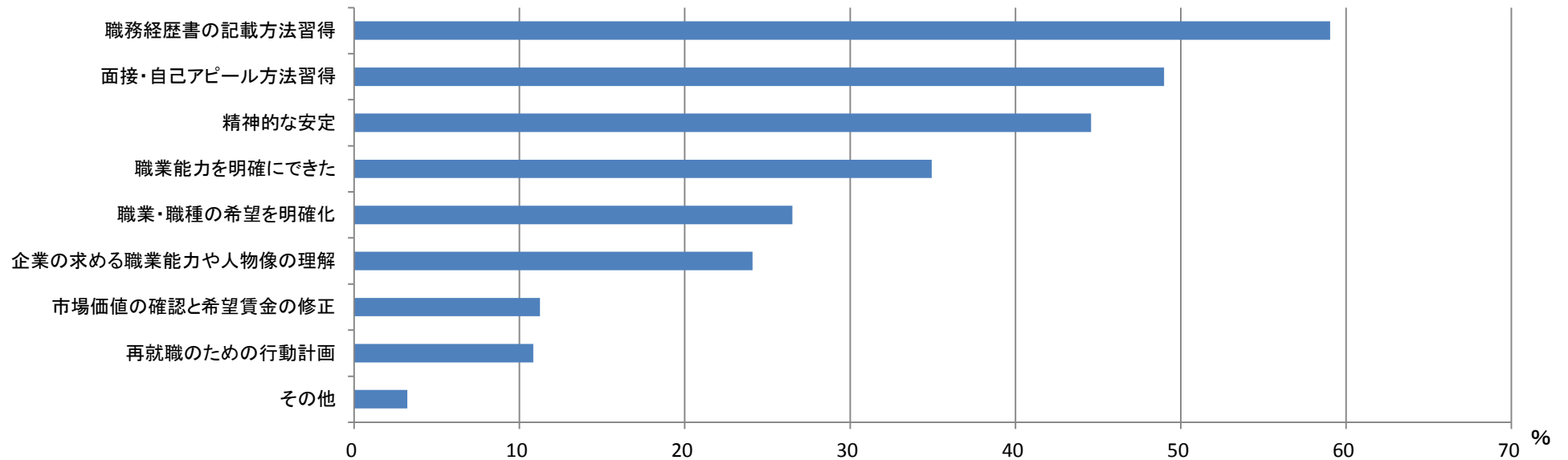
# 長期失業者等総合支援事業の就職者へのアンケート調査

## Q. 職業相談やカウンセリングは、役に立ちましたか？(n=205)



- 「役に立った」が85.4%。
- 役に立った内容をみると、応募書類、面接指導のほか、精神的な安定等も上位にあがっている。

## Q. 職業相談やカウンセリングで、役に立ったもの全てに○を付けて下さい。(n=205)



# 長期失業者等総合支援事業利用者の支援事例



## 求職者のプロフィール

年齢・性別	55歳、男性
最終学歴	大学卒業
免許・資格	普通自動車運転免許、ホームヘルパー2級
家族構成	妻、息子(社会人)
失業期間	2年3ヶ月
支援期間	6ヶ月(+定着支援3ヶ月)

## 【支援を受ける前】

- ・大学卒業後、中堅の不動産業に営業職として入社、以来、営業一筋で、管理職としての仕事もこなしていたが、早期退職制度を利用して退職したとのこと。
- ・退職後、ハローワークを中心に求職活動を行っていたが、60社以上応募するも採用に至らなかった。また、活動当初はスーツでハローワークに来所していたが、徐々に身なりに構わなくなり、服装、頭髪等が乱れた恰好で来所するようになった。
- ・本人的にはこれだけの経験があれば、すぐに就職できるものと思っていたが、全く採用に至らず、落胆し悩んでいる様子だった。

## 【支援内容とその経過】

- ・自尊心が高く、営業職に固執していたため、まずは、労働市場を理解してもらうことに多くの時間を費やし、また、身なりについても、外出する際には、面接を意識し、人に不快感を与えないよう身だしなみに気をつけるよう指導した。
- ・「なぜ、営業職に就きたいのか」をじっくり分析することにより、「人の喜ぶ顔が見たいから」という新卒時の志望理由を思いだしてもらった。
- ・自分がやりたい仕事と労働市場との乖離に気づくことにより、営業職以外の職種にも目を向けていくようになる。
- ・親が倒れて、要介護になった際に、介護ヘルパー2級の資格を取得しており、経験はないものの、挑戦してみたいという意欲が湧いてきた様子。
- ・賃金の希望条件を下げるとともに、複数のキャリア・コンサルタントによるマインド・リセットや協調性、コミュニケーションスキルの向上の指導で、柔和な表情や雰囲気に変化してきた。

## 【結果】

有料老人ホームの契約社員に採用され、3ヶ月の定着支援を実施。  
現在は、正社員になるべく、若いスタッフとともに仕事に励んでいるとのこと。



## 求職者のプロフィール

年代・性別	43歳 男性
最終学歴	高校卒業
免許・資格	普通自動車運転免許
家族構成	両親
失業期間	1年9ヶ月
支援期間	4ヶ月+再支援2ヶ月(+定着支援2ヶ月)

## 【支援を受ける前】

- ・高校卒業後、ルート営業の正社員や居酒屋のキッチンでの契約社員などの就業経験をしてきたが、いずれも対人関係の問題から退職を繰り返してきたとのこと。
- ・将来を考え、安定した仕事に就きたいと思うものの、転職の多さや仕事の一貫性のなさから採用に至らなかったため、本事業の支援を受けることを決意したという。
- ・口数が少なく、相談時もなかなか目を合わせてくれず、ぶっきらぼうな印象であった。

## 【支援内容とその経過】

- ・人と話すのがあまり得意ではないとのことで、前職も周囲に馴染めなかったことが大きな離職理由であったことから、グループワークへの参加を勧め、少しずつ、人と接することの苦手意識を克服してもらった。
- ・離転職を繰り返してきたことを、面接で必ず問われてきたとのことで、これまでに就いてきた仕事を振り返り、職務経歴書を一から見直し、また面接の練習を何度も行い、自然な笑顔で対応ができるようになるまで指導を行った。
- ・相談をしていく中で、本人の性格からルーチン作業に適性があると判断し、製造業への応募を勧め、採用されるも、ライン作業のペースについて行けず、ほどなく退職し、再支援となった。
- ・再度、相談をしていく中で、決められた作業をコツコツとこなしていくような仕事に応募したいという、本人が確たる方向性を持って就職活動を行うようになってきた。

## 【結果】

コンビニエンスストアの配送会社で正社員となり、職場の先輩から仕事を教えてもらうとともに、自分でも物流について勉強を始めるなど、意欲的に就業しているとのこと。



# 現状分析(その1)

○ 就職1件当たりの実際の支給額は約37万円である。

当事業の	24年度	25年度	26年度	3年平均
①委託費の執行額	158,600千円	1,041,000千円	1,105,200千円	768,267千円
②就職者数	448人	2,776人	3,050人	2,091人
③就職1件当たりコスト(①/②)	354,018円	375,000円	362,361円	367,416円

○ 有料職業紹介事業の就職1件当たりの手数料は約95万円であり、上昇傾向にある。

	22年度	23年度	24年度	25年度	4年平均
有料職業紹介事業の就職1件当たりの手数料額	895,000円	959,000円	977,000円	970,000円	950,000円

〈注〉「就職」とは、雇用期間の定めのないもの、または、4か月以上の雇用期間が定められているもの。

〈資料出所：一般社団法人日本人材紹介事業協会「業況調査」〉

○ 当事業の応札企業数は、平均して約2社に留まっている。

	23年度	24年度	25年度	26年度	4年平均
当事業の平均応札企業数	2.0社	2.3社	2.0社	2.3社	2.2社

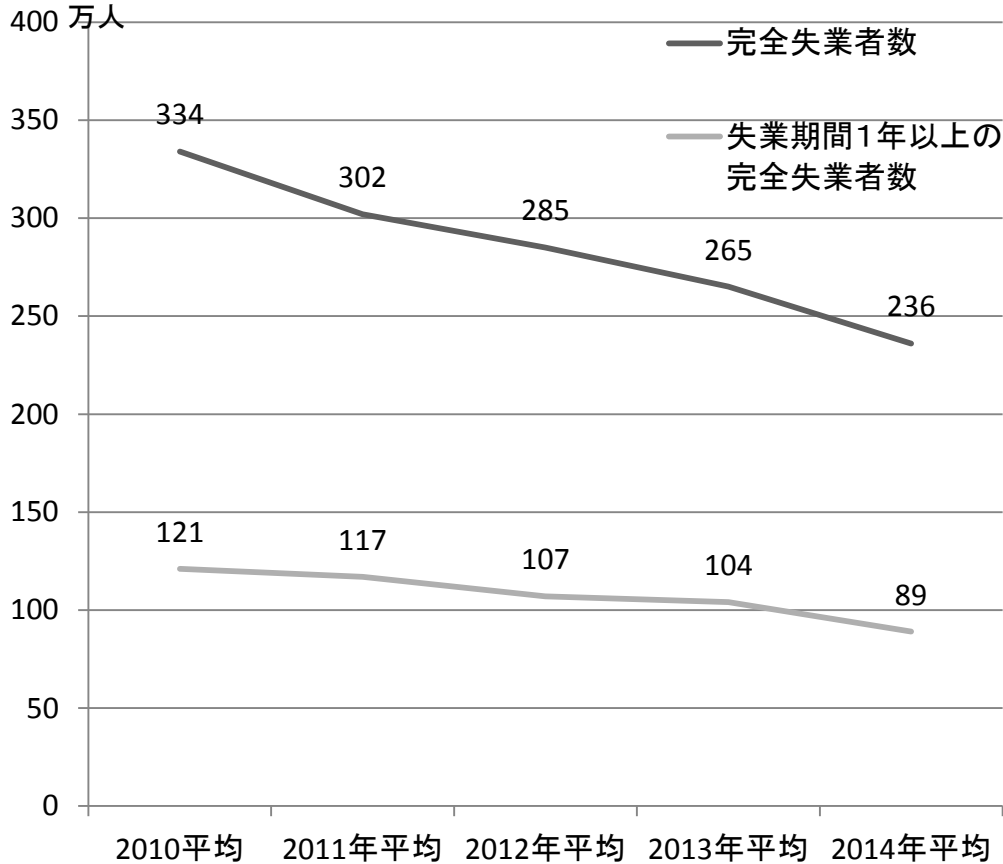
→ 委託費の支給額の見直し(減額)を行った場合、受託事業者から手が挙がらなくなることが予想される。

# 現状分析(その2)

失業期間1年以上の完全失業者数は減少しているが、完全失業者数に比べると減少幅は小さい。

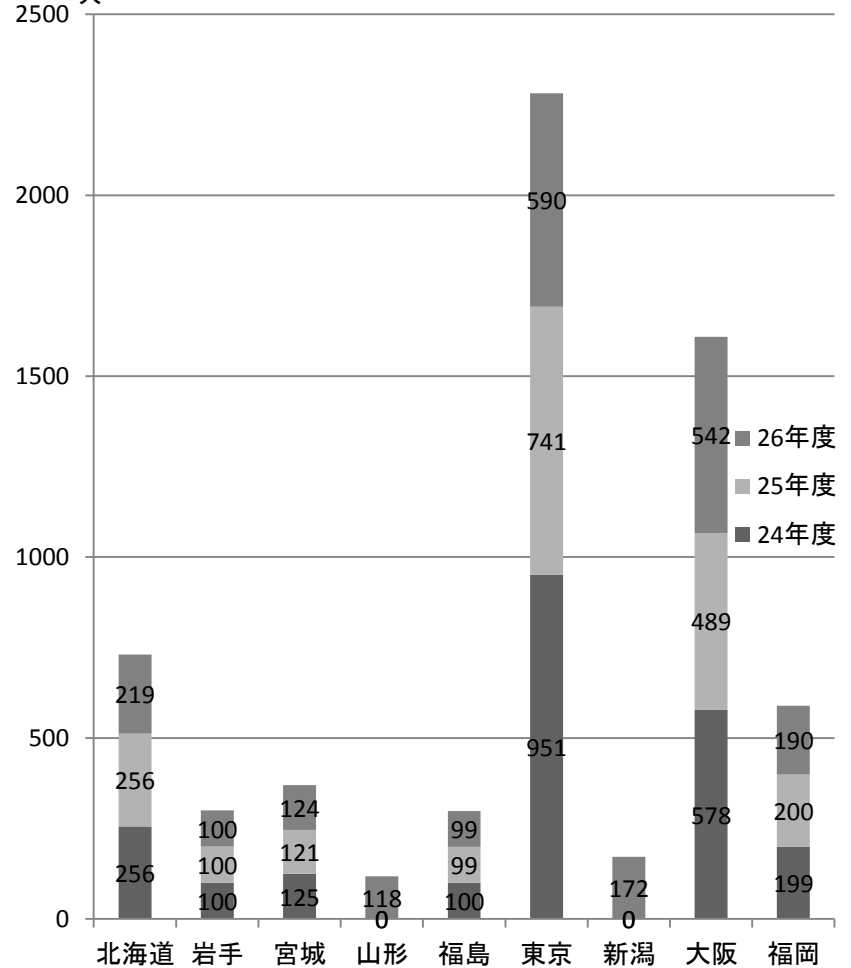
大都市圏では事業開始者数が多いが、それ以外は少ない。

完全失業者数の推移



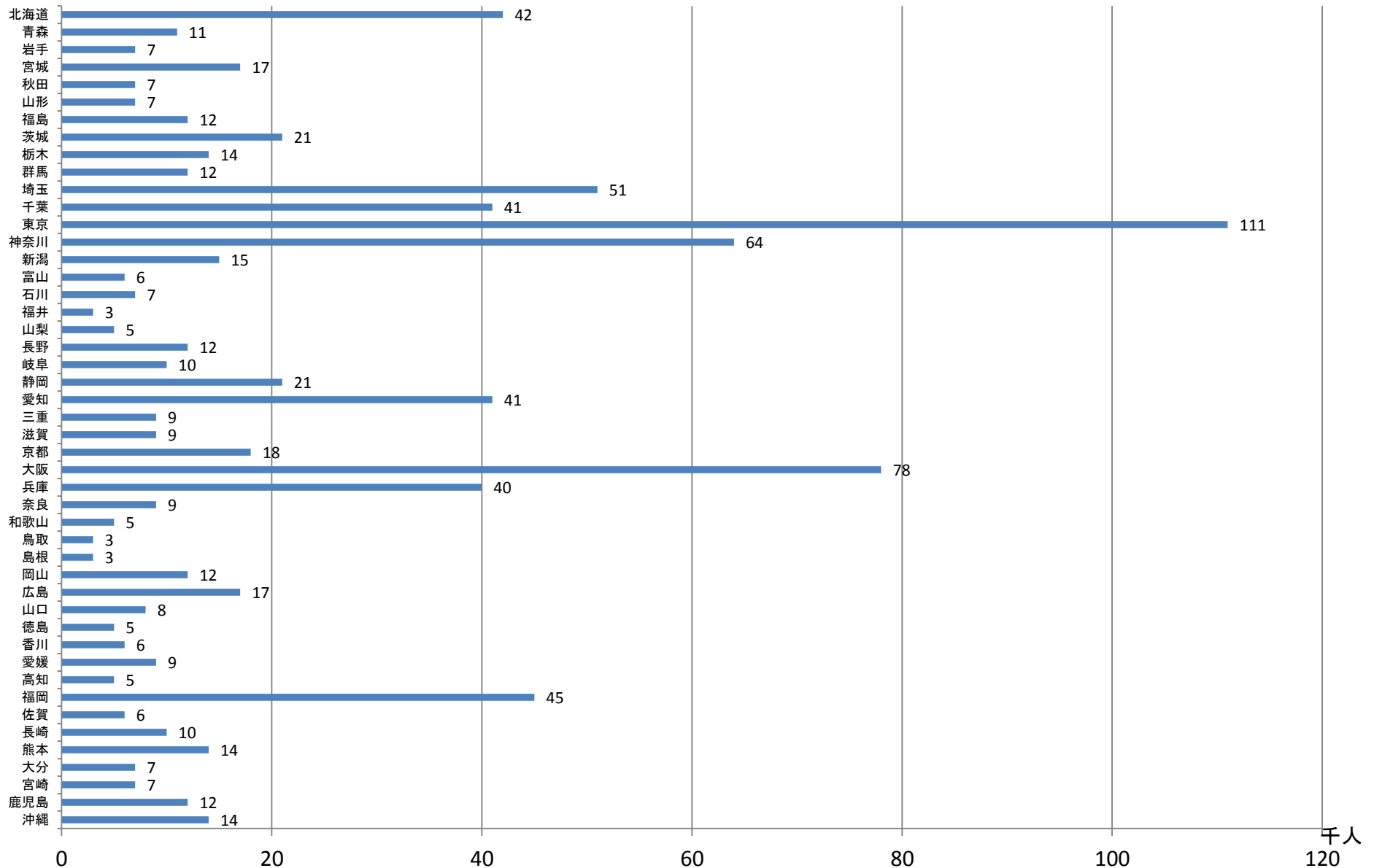
出所:「労働力調査(詳細集計)」

長期失業者等総合支援事業開始者数



# 平成26年平均 都道府県別長期失業者数(推計)

直近の平成26年平均で、長期失業者数の多い地域に縮減する。



〈注〉 1年以上の完全失業者数89万人（2014年平均）を都道府県別の完全失業者数で割り振って推計した。 資料出所：労働力調査